

## 消化器内科 初期臨床研修プログラム

### 一般目標 (GIO : General Instructional Objectives )

将来の専門診療科にかかわらず、良質な医療を提供するために、日常遭遇する一般的疾患の知識、診療の技術、診察の態度を身につける。

### 行動目標 (SBO : Specific Behavioral Objectives )

医療人として必要な基本姿勢・態度

### 研修方略 (LS : Learning Strategies)

#### ***【On the job training(OJT)】***

到達目標

- ・一般的な消化器疾患の診断と治療計画が立案できること。
- ・検査（腹部エコー、上部内視鏡検査、胃透視読影）の基礎を学ぶことができる。

#### **LS1 : 病棟研修**

- ・ローテート開始時には部長、指導医、病棟看護師長と面談し、自己紹介、研修目標の設定を行う。ローテート終了時には、評価表の記載とともにfeed backを受ける。
- ・受け持ち患者を数名担当し、担当医として主治医と合同で診療に参加する。問診・診察・検査のオーダー・検査データの解釈を毎日行い、主治医の指導を受ける。内視鏡などの検査・治療に積極的に参加する。毎週消化器内科カンファレンスにて担当患者の症例提示を行い協議する。手術が必要な症例は内科外科合同カンファレンスにて提示する。担当患者の退院時には入院要約をまとめ、指導医から指導を受ける。
- ・採血・静脈路確保などを行う。中心静脈カテーテル留置を行う。
- ・腹水穿刺を術者・助手として行う。
- ・インフォームド・コンセントの実際を学び、担当患者については必要に応じて指導医の指導の下自ら行う。
- ・指導医の指導の下(主治医との連名で)診療情報提供書、各種証明書・診断書を自ら記載する。
- ・緩和・終末期医療について学習する。

#### **LS2:外来研修**

- ・初診患者の問診、身体診察、検査データ、画像データの把握を行ない、検査・治療計画立案に参加する。診療終了後にfeed back を受ける。
- ・指導医が行う再診患者の診療を観察する。

#### **LS3 : 内視鏡センター研修**

- ・上級医による内視鏡に関する講義を受講する。

- ・主に助手として内視鏡検査及び治療に参加する。
- ・担当患者については必要な場合、指導医の指導の下、上部消化管スクリーニング内視鏡検査を行う。内視鏡所見の観察・記録を行うことによって、各種癌取扱規約を学ぶ。緊急内視鏡検査には積極的に介助・助手として参加する。

#### LS4：放射線部門

- ・血管造影・IVR、ドレーン留置・交換、中心静脈カテーテル留置、イレウス管挿入などを術者・助手として行う。
- ・胃透視を上級医と共に読影し、読影の基礎を身につける。

#### LS5：生理検査部門

- ・上級医による講義を受講する。上級医・指導医・検査技師の指導の下、腹部超音波検査を学習しスクリーニング検査を行う。研修終了時にレポートを提出する。

#### LS6：救急業務

- ・日中救急外来より消化器疾患の診療依頼があった際は必要に応じて救急担当指導医とともに初期対応にあたる。入院となった場合には、救急担当指導医の指導の下担当医として引き続き入院後治療も行う。

### 【Off the job training(OffJT)】

#### LS7: カンファレンス

- ・毎週月曜日 17 時から消化器内科症例カンファレンスに参加し、担当患者の症例提示を行う。その後にある、抄読会に参加し、研修中 1 回は自ら抄読を行う。
- ・毎週火曜日 17 時から内視鏡カンファレンスに参加し、内視鏡検査所見を上級医と供覧し学習する。
- ・毎週水曜日 8 時から内科外科合同カンファレンスに参加し手術が必要となる担当患者の症例提示を行い、手術適応について学習する。

### 【週間スケジュール例】

	月	火	水	木	金
8:00	AM8:20 内科 ミーティング		AM8:00 内科外科合同 カンファレンス		
8:30	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟
9:00	腹部超音波検査	救急当番 病棟 内視鏡	総回診	救急当番 病棟 内視鏡	救急当番 病棟 内視鏡
12:00	昼休憩				

13:00	救急当番 病棟 内視鏡	救急当番 病棟 内視鏡	救急当番 病棟 内視鏡	救急当番 胃透視研修 病棟 内視鏡	救急当番 病棟 内視鏡
17:00	消化器 カンファレンス	内視鏡 カンファレンス			

### 評価(Ev : Evaluation)

#### 1. Communication skill (行動目標)

- 1) 良好な患者医師関係が構築できインフォームドコンセントが適切に施行できる
- 2) 患者の心情や社会的背景を理解し惻隱の情をもって診療する
- 3) 挨拶ができ、医師、コメディカルと良好なコミュニケーションがとれる
- 4) 時間を守る
- 5) 感染対策、医療安全対策を理解し実施できる

#### 2. Medical skill (経験目標)

- 1) 腹部超音波検査の実施
- 2) 上部消化管検査の適応、実施介助、所見読影
- 3) 消化管出血症例の経験、治療
- 4) イレウス症例の経験、治療
- 5) 消化器がん症例の経験、治療
- 6) 消化器感染症の経験、治療
- 7) 不明熱の診断・治療

#### 3. Academic skill

- 1) 消化器、総合内科カンファレンスで論理的な症例呈示や討論ができる。
- 2) 臨床上の問題解決のため文献的情報収集し、吟味したうえで当該患者に対応する